

1 基本項目	事務事業名	シティプロモーション事業			担当部署	課名	企画総務部企画政策課
	予算事業名	シティプロモーション事業				係名	地域資源推進班
	事務区分	自治事務			電話番号	0765-23-1067	
	事業期間	開始年度	平成27年度	終了年度		当面継続	予 算 科 目
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち			款	
	画	政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出			項	総務管理費
	根	施策名	9 観光の振興			目	地方創生推進費
拠	基本事業名	9-2 情報の活用と受け入れ体制の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし
法	令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載

2 事業概要	事業概要	全国的な人口減少・少子高齢化社会に対応し、選択されるまちを目指し、市の特徴・魅力を発信する。
	対象	市民、市外住民
	手段 (活動指標)	動画の制作・発信。
意 (成果指標)		市の認知度を向上させる

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標	① 動画視聴回数	回			2,000	111	5.6%	2,000
	②							
	③							
成果 指標	①							
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円			49,000			486,000
	②委託料	円			9,446,000			500,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円			54,000	9,446,000		843,000
	支出合計 (A)	円	0	0	9,549,000	9,446,000		1,829,000
財源 内訳	①国庫支出金	円			9,549,000	9,446,000		914,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円						915,000
	収入合計	円	0	0	9,549,000	9,446,000		1,829,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人			1	1		1
	②年間所要時間	時間			400	400		400
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	0	0	1,680,000	1,680,000		1,680,000
	総費用 (A+B)	円	0	0	11,229,000	11,126,000		3,509,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	【選択してください】	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性				1 妥当である			
対象の妥当性				1 妥当である			
有効性	【選択してください】	B	目標達成度	3 低い・未実施			
			類似事業の有無	2 検討の余地あり			
			上位施策への貢献度	1 高い			
効率性	【選択してください】	B	コスト効率	2 普通			
			実施主体の適正化	1 適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である			
	1次評価 (課長総括)	【選択してください】	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価 (課題及び今後の方針)				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	観光地維持管理事業				担当 部署	課名	商工観光課	
	予算事業名	受入体制整備事業					係名	観光係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続		予 算 計	一般	
	総合 計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				款	7. 商工費	
		政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出				項	1. 商工費	
		施策名	9 観光の振興				目	4. 観光費	
画	基本事業名	9-2 情報の活用と受け入れ体制の整備				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
根拠法令						総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	天神山城跡、松倉城跡の清掃や維持、しんきろうロードの清掃や交通整理、海の駅歴史館の駐車場を占用。また、必要に応じた観光施設等を修繕するとともに、レンタサイクルの貸出や維持管理を行い観光客の利便を図る。観光振興条例・観光振興計画策定。
	対象	観光施設
	手段 (活動指標)	天神山及び松倉城跡の公衆便所の維持管理、駐車場の占用料の支払いなど。観光振興計画の策定
	意 図 (成果指標)	たくさんの方が県内外、国外から魚津に来る。観光地をきちんと維持管理することにより、本市へ訪れるの方々に対しおもてなしの意識を高め、併せてリピーターも増やす。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 天神山・松倉城跡清掃委託料	円	203,100	166,921	203,100	171,735	84.6%	213,300
	② しんきろうロード交通整理・清掃委託料	円	1,142,200	1,142,200	1,142,200	1,142,200	100.0%	1,223,400
	③ 観光関係修繕	円	200,000	15,704	203,000	576,958	284.2%	150,000
	① 当年観光客入込数	人	2,062,000	1,561,785	2,158,000	1,539,211	71.3%	1,950,000
	② 海の駅歴史館の入込数	人	320,000	272,532	320,000	266,452	83.3%	320,000
	③ レンタサイクル利用台数	台	470	948	1,250	1,153	92.2%	1,200

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	362,000	166,090	832,480	791,863	376.8%	335,000
	②委託料	円	2,542,000	2,459,485	2,070,000	1,844,799	-25.0%	3,636,000
	③工事請負費	円	4,125,600	4,125,600	1,500,000	1,051,974	-74.5%	1,000,000
	④負担金補助及び交付金	円	7,986,000	7,986,000	19,880,560	14,030,000	75.7%	19,100,000
	⑤その他	円	1,187,400	841,615	353,000	344,410	-59.1%	391,000
	支出合計 (A)	円	16,203,000	15,578,790	24,636,040	18,063,046	15.9%	24,462,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	316,000	316,000	500,000	350,000	10.8%	533,000
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円		440,021	375,000	418,500	-4.9%	360
	⑤一般財源	円	15,887,000	14,772,769	23,761,040	17,141,750	16.0%	23,928,640
	収入合計	円	16,203,000	15,528,790	24,636,040	17,910,250	15.3%	24,462,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	400	400	400	600	50.0%	600
	③人件費 (②×@ 4,400 円) (B)	円	1,760,000	1,760,000	1,760,000	2,640,000	50.0%	2,640,000
	総費用 (A+B)	円	17,963,000	17,338,790	26,396,040	20,703,046	19.4%	27,102,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	しんきろうロードへの観光案内員の配置や、天神山及び松倉城跡の公衆便所の維持管理、また、観光案内所の運営に補助金を支出するなどし、観光客の受け入れ体制の整備・強化を行った。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	公共の場の維持管理、および観光客受入体制強化を図る事業のため、自治体の関与は妥当。
目的の妥当性					1 妥当である	観光地の維持管理を中心とした受入体制の強化は、観光の基盤となるものであり、目的は妥当。	
対象の妥当性					1 妥当である	現在対象として施設・団体はどれも受入の観点から重要なものであるため妥当。	
有効性	有効性	B	B	目標達成度	1 高い	指標の実績数値はほぼ計画を達成しているが、観光客の満足度等、数値では測れない要素もあり事業の継続、強化が必要。	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	他課の管理する観光施設もある。事業の住み分けを含め、連携を図っていく必要がある。	
				上位施策への貢献度	1 高い	観光客の獲得を目的とする全ての事業の基礎となる事業であるため。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	県の補助を活用するなどし、市費の削減に努めている。	
				実施主体の適正化	1 適正である	観光協会を中心に、市の観光に寄与する団体、施設への補助であり、実施主体は適正。	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	増額も含め、それぞれの事業計画等をもう一度見直し、補助額等を固定化せずに考える必要がある。	
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	【選択してください】
	後の 評価 結果 (課題及び 方針)	観光客の受け入れの充実を図るため、施設(ハード)、観光案内(人材)の充実に努める。特に人材の育成については、観光振興計画に沿って進めていく。また、北陸新幹線開通に対応するため他市町と連携した包括的な受入体制の構築、観光ルートの造成、滞在・体験プログラムのブラッシュアップを図る必要がある。			評価 結果		

1 基本項目	事務事業名	観光・物産宣伝事業				担当 部署	課名	商工観光課	
	予算事業名	観光・物産宣伝事業					係名	観光係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1025	
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続		会計	一般	
	総合目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち					予算 科目	款	7. 商工費
	政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出						項	1. 商工費
	施策名	9 観光の振興						目	4. 観光費
基本事業名	9-2 情報の活用と受け入れ体制の整備				アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	魚津市のみどころ（観光資源やイベントなど）や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体の活性化を目指す。加えて市内の観光施設、観光関係団体の活動支援を行う。
	対象	全国民（首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット）観光関係団体
	手段（活動指標）	パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボランティア支援等。首都圏や関西圏など大都市圏での物販、観光PRを実施。
	意図（成果指標）	魚津の良さをPRすることにより、観光客入込数の増加を図り、地域の活性化を目指す。県内外からの観光客誘致のために特産品販売に効果を求め、質の良さを認知してもらい、魚津の魅力アップにつなげる。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 広告費（新聞・テレビ等）	円	2,000,000	2,049,305	2,000,000	2,195,807	109.8%	2,280,000
	② 県外向出宣伝	回	13	16	16	16	100.0%	16
	③							
	① 当年観光客入込数（実績は観光客入込数調査 統括より）	人	2,062,000	1,561,785	2,062,000	1,539,211	74.6%	2,062,000
	② 宿泊客数（実績は観光客入込数調査 統括より）	人	245,000	288,274	300,000	251,561	83.9%	300,000
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	3,137,181	2,544,112	3,253,000	3,218,265	26.5%	3,241,000
	②委託料	円	3,966,695	3,960,640	4,304,193	3,582,840	-9.5%	1,000,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	2,301,881	2,301,881	2,319,440	2,319,440	0.8%	1,300,000
	⑤その他	円	3,237,243	2,900,043	3,243,327	2,882,899	-0.6%	2,938,000
	支出合計（A）	円	12,643,000	11,706,676	13,119,960	12,003,444	2.5%	8,479,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円	12,643,000	11,577,616	13,100,520	11,800,059	1.9%	8,479,000
	収入合計	円	12,643,000	11,577,616	13,100,520	11,800,059	1.9%	8,479,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	3	-25.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,260	1,260	1,260	2,000	58.7%	2,000
	③人件費（②×@ 4,400円）（B）	円	5,544,000	5,544,000	5,544,000	8,800,000	58.7%	8,800,000
	総費用（A+B）	円	18,187,000	17,250,676	18,663,960	20,803,444	20.6%	17,279,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	観光パンフレットの作成、テレビや新聞・雑誌等への広告、観光ボランティアや市内伝統芸能団体の支援等を実施した。また、首都圏や関西圏など大都市圏において、物販と連携した観光PRを行った。 H27年度より新しく、台北国際旅行博への出展や、中板橋での集中した観光PRを実施した。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市の観光・物産宣伝が目的であるため、市の関与が妥当。
目的の妥当性					1 妥当である	観光客の増加のため、県内外でのPRは不可欠であり、目的は妥当。	
対象の妥当性					1 妥当である	出展するイベントや広告は精査して選択しており妥当。補助対象団体は市内伝統芸能団体であり、観光PRの観点から妥当。	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	県外からの受入人数は増加している。他の要因も影響するが、宣伝の効果は一定以上上がっていると考えられる。	
				類似事業の有無	1 なし	他課の協力を仰ぎながら実施しているが、観光宣伝を目的とした事業は他にはない。	
				上位施策への貢献度	1 高い	受動的な受入だけでなく、市が能動的に魅力を発信することで、観光客の増加に貢献しているため。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	1 高い	イベントへの出店や広告は最低限のコスト、人員で行っている。	
				実施主体の適正化	1 適正である	補助対象団体は全て観光宣伝には不可欠な伝統芸能を伝える団体であり、適正。	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	補助対象団体の会計状況等を考慮し、金額を固定化せずに考える必要がある。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	【選択してください】
	後（課題及び今後の方針） 評価結果	北陸新幹線開業により今まで以上に本市の知名度を向上させるため、首都圏や北陸新幹線沿線、関西圏での観光PRを効率よく積極的に行っていく。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	食泊連携事業			担当部署	課名	商工観光課	
	予算事業名	食泊連携事業				係名	観光係	
	事務区分	自治事務			電話番号	0765-23-1025		
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	当面継続	予会計	一般	
	総合計画	目標名	基本目標1 にぎわい、活力あるまち			科目	款	7. 商工費
	画	政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出			目	項	1. 商工費
	根拠法令	施策名	9 観光の振興			アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
	基本事業名	9-2 情報の活用と受け入れ体制の整備			総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	魚津駅前を中心に賑やかな飲食店街と数多くある宿泊施設が立地するという観光インフラの特性を活かし、食の魅力をPRしながら観光客の誘客や延泊を図る。
	対象	市内飲食店、宿泊施設、観光客
	手段(活動指標)	魚津市観光協会、各実施主体等に対し補助を実施
	意図(成果指標)	県内外からの観光客誘致

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 補助金額	円	7,500,000	6,750,000	10,690,000	7,690,000	71.9%	5,000,000
	②							
	③							
成果指標	① 当年観光客入込数	人	2,062,000	1,561,785	2,062,000	1,539,211	74.6%	1,950,000
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円			500,000			
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	7,500,000	6,750,000	7,690,000	6,500,000	-3.7%	5,000,000
	⑤ その他	円			180,000			
	支出合計(A)	円	7,500,000	6,750,000	8,370,000	6,500,000	-3.7%	5,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	7,500,000	6,750,000	8,370,000	6,500,000	-3.7%	5,000,000
	収入合計	円	7,500,000	6,750,000	8,370,000	6,500,000	-3.7%	5,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	3,520,000	3,520,000	3,520,000	3,520,000	0.0%	3,520,000
	総費用(A+B)	円	11,020,000	10,270,000	11,890,000	10,020,000	-2.4%	8,520,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	食と地域の交流促進事業、魚津飲み歩き事業、とやまグルメランド事業に対し補助を実施。市内の食と泊の施設への回遊を図る。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市内の食材や人材を活用するイベントへの補助であり、市の関与は妥当。
目的の妥当性					1 妥当である	地場産品を活用したイベントを支援することで、観光客の増加とともに魚津市のPRに寄与している。	
対象の妥当性					1 妥当である	補助対象については計画等を精査して判断している。	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	各イベントにおいて地場産品の活用にも努め、延泊を期待できる開催日程になっていることから、効果は高いと考えられる。	
				類似事業の有無	1 なし	類似する事業はない。	
				上位施策への貢献度	1 高い	地元の活力を生かしたイベント支援が中心であるが、観光客の増加だけでなく、地域活性化、消費拡大にもつながっている。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	計画を精査し、最低限の予算で事業実施しているが、市の補助金が主となっているイベントもあり、事業規模の検討が必要。	
				実施主体の適正化	1 適正である	いずれも地元の観光資源を生かしたイベントに対する補助である。	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	県の補助等を期待できる事業もあり、内容の変更も含めた事業見直しを進めていく必要がある。	
	1次評価(課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当	2次評価	不要	【選択してください】
	後(課題及び今後の評価結果)	魚津の食の魅力さをさらに発信するため、魚津deハル街など様々な食イベントを開催。食の街「魚津」のイメージアップを図りながら、ホテル・旅館組合との意見交換を実施し、宿泊者が食を求め街へ繰り出すような仕掛けを行った。今後とも本市が県東部の宿泊地として全国から認知され、交流人口が確実に増加するよう事業の継続が必要。			評価結果		